

NEWS LETTER

2022/11

vol.16

CONTENTS

- ・ヒューマンライフシンポジウム2022を開催しました
- ・ちょこっとコラム「ホッと安心できた瞬間」
- ・令和4年度介護セミナー「今から知っておきたい介護の初めの一步」を開催します

開催報告

ヒューマンライフシンポジウム2022を開催しました

10月9日に水戸市を主催としたシンポジウムを開催しました。(茨城大学・常磐大学 共催)

会場となった水戸市役所本庁舎4階のホールには、本学学生を含め90名の市民がオンサイトで参加し、同日にオンラインで聴講された183名と合わせ273名の参加規模となりました。

第1部では、「共に生きるとは何か - 難民の声、家族の歴史から考えた多様性 -」をテーマとし、認定NPO法人 Dialogue for Peopleの副代表でフォトジャーナリストの安田菜津紀さんの基調講演が行われました。茨城大学・常磐大学の学生が司会を務めるとともに、学生や多くの市民も聴講し、報道の最前線で活躍する安田氏の講演に耳を傾けました。

また、第2部では、「SDGs×地域×ジェンダー」をテーマに、人文社会科学部の横溝環先生をモデレーターとして、安田菜津紀さん、富田敬子常磐大学学長とトークセッションを行いました。

第1部 基調講演



会場の様子

フォトジャーナリスト
安田菜津紀 氏

【長橋 芽生さん からのコメント】

今回はとても貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

我が家は、日曜の午前には必ず(安田さんがコメンテーターとして出演している)『サンデーモーニング』を見ます。テレビの向こう側にいる人に会える、そしてお話ができる。胸の高鳴りが止まりませんでした。

テレビでは目線が高いコメンテーターとは異なり、現場で見てきたものをそのままの視点からの確に伝えている安田さん。実際に会ってみて、話し方や表情がとてもやさしく、温かい方だと感じました。司会の私と目を合わせて「司会お疲れ様でした、ありがとう」と声をかけてくださったことが忘れられません。また、やさしさだけでなく、講演会のなかで、常に信念を強く持って人々に語り掛ける姿を生で見て、感銘を受けました。誰も傷つけない選び抜かれた言葉遣いや、彼女が写した難民やご親族の写真一枚一枚の世界に、聞いている方全員が引き込まれていたと思います。

司会
人文社会科学部3年
長橋芽生 さん

第2部 トークセッション



左から 人文社会科学部 横溝環 准教授、安田菜津紀 氏、常磐大学 富田敬子 学長

〔横溝環 先生 からのコメント〕

この度は、多様性について考える貴重な機会をいただきましたこと心より感謝いたします。第1部の基調講演では安田菜津紀さんをご自身の写真とともに、私たちの無知と無理解がもたらす外国ルーツの方々に対する差別、そして命の大切さについて、一つ一つの言葉を丁寧に紡ぎながら伝えてくださったことが心に響きました。第2部のトークセッションでは、外国ルーツの女子児童生徒の不就学と文化相対主義とのジレンマ、PTA役員にみられる性別役割分業意識の固定化、ジェンダーとセクシュアリティの位置づけについて、安田菜津紀さん、常磐大学の富田敬子学長が貴重なご示唆をくださいました。そこでは一貫して、人権を尊重していくことの大切さ、さらに自分にできる役割を果たしていくことの重要性について語られていたことが深く印象に残りました。

全体を通して、多様性の尊重をただの美辞麗句では終わらせずに、矛盾だらけの現状に向き合い考え続けていくこと、小さなことでもよいので行動していくことの大切さを改めて学ぶことができました。誰もが自分らしく堂々と生きられる社会をつかっていくために何ができるのか自らに問い続けていきたいと思いました。

人文社会科学部
横溝環 准教授

ちよこっとコラム

広報室 山崎一希専門職の「ホッと安心できた瞬間」

シンポジウムでの安田菜津紀さんの言葉。紛争地などで取材をしていると、「こんなこと(取材)より目の前の方を直接助けるべきではないか」と煩悶するのだそう。そんなとき現地のNGO職員から、「私たちは直接的な支援で精いっぱい。発信にまで手が回らない。だからあなたにはそれをしてほしい。役割分担なんだよ」と言われて救われた、という話が印象的でした。

大学の広報という仕事でも同じような悩みにぶつかることがあります。たとえば、学生たちが抱える生活上の不安にもっと直接コミットすべきではないか、とか。でも「役割分担」という安田さんの言葉を聞き、自分も広報という仕事の本分でできることをまずはちゃんとやろう、そう思いを改めるとともに、ちょっと安心できました。



令和4年度介護セミナー

今から知っておきたい 介護の初めの一步

ライフイベントと仕事の両立のために、介護の専門家であるケアマネジャーから介護の基礎的な仕組みを学びましょう。日立市の事例を中心にご紹介いただきます。

講師

大森 卓 氏

日立市地域包括支援センター小咲園
ケアマネジャー

- 地域包括支援センターの目的及び事業内容について
- 介護保険サービス利用の概要、仕組みについて

[ライブ配信]
(Teams)

令和4年 **12月22日(木)**

講演 ; 14:30~15:00

質疑応答 ; 15:00~15:15

[参加方法]

こちらからご参加ください。

[対象]

本学教職員

事前申込は
必要ありま
せん

[オンデマンド配信] 令和5年1月中

(詳細は後日お知らせします)

介護についてご質問がありましたら、令和4年12月15日(木)までに下記フォームからお寄せください。セミナー当日に参加頂けない方の質問にはオンデマンド配信時にご確認いただけるよう、セミナー内で講師が回答いたします。

<https://forms.office.com/r/9N8AQ0Biyg>

《問合せ先》ダイバーシティ推進室

E-mail : diversity_office@ml.ibaraki.ac.jp 電話 029-228-8237

